

---

【日時】 2011年11月14日（月）15時00分～17時30分

【場所】 京都大学教育学部（本館）1階 第一会議室

【講師】 嶋田総太郎先生（明治大学工学部准教授）

【演題】 自己と他者の脳内身体表現ダイナミクス

【要旨】

自己と他者の身体が脳内でどのように表現され相互作用を持つのかについて理解することは人間の社会性認知能力を知る上で重要である。ミラーシステムは自己と他者の身体表現が脳内で重なっていることを示しているが、他者運動の観察はいつでもミラーシステムを活動させるわけではなく、諸要因によって活動が変動することがわかってきている。本発表では、成人および乳児のミラーシステムの活動について最近の研究成果を紹介し、その活動を促進または抑制する要因について検討する。また自己身体認識に関する行動実験および脳機能計測実験の研究成果についても概観し、ミラーシステムとの関連について議論を行いたい。

---